

## 「今を生きる」

瀬口 朗子

### はじめに

「トライアングルやタンバリンなどでも一緒に楽しめたらなと思っています。」  
前回の活動報告に書かせていただいたことです。令和2年度実現しました。バンドメンバーの一員となり、コンサートにもベースで参加させていただきました。合宿では部活を思い出す練習を味わい、楽しみ。皆さんの優しさのもと、無事当日を迎えることができました。その後、コロナ禍で思うような活動ができておりませんが、いつかのいつかの活動再開を楽しみにしています。

### グループラインでの私の本音

「人それぞれのオリジナリティーや個性を尊重し認めあえることを学ぶのではないのでしょうか。」私たち自身に当てはまる加賀谷先生のお言葉でした。生きてきた世界の違い、関わってきた音楽の世界の違い、そして、そこをすり合わせ、折り合いをつけ高めていく。そのすり合わせや折り合いは妥協ではなく、認め合い。妥協の気持ちでは高まりません。認め合い、互いを活かし、互いを生かし。昨日（コンサート）に向けて個々人いろんな葛藤との戦いであったと思います。そんな葛藤を抱えながらも無事終え、ほっとしています。私個人としては30年ぶりにバンド復活で気持ちはノリノリです。

### 今思うこと

私は初めての就職が幼稚園の先生です。子育てをしながら教員採用試験を受け、教員になりました。平成24年度に学務課に入るまで21年間大人だけの社会で仕事をしたことがありませんでした。（アルバイトはたくさんしましたが。その経験はとても生きています。）日中は子どもと過ごし、先生と呼ばれ、世間とは違った生活を送っていたことに気が付かされました。もっと世間を知らなければならないと感じたり、世間を知らないから故に保守的にならずチャレンジ精神で取り組めることもあるのかなあと感じたり。どちらにしても、誰もが心豊かに安定した気持ちで過ごしていければ、どこも平穏です。心豊かにあるために、安定した気持ちであるためには、自分の「やりたい」を見つけチャレンジする、「今を生きる」もひとつかなとも思います。

### おわりに

バンドやバイクやソロキャンプは、「自分を見つめる」「今を生きる」そんな時間になっています。そんな時間を大切にしながら、仕事のパフォーマンスをあげ、学校現場の縁の下のカ持ちとしてお役にたてるよう、自分磨きをしていきたいです。